

## 地方創生の取組に係る数値目標の進捗状況について

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和 3 年度の実績	備考
<b>■ 新規雇用創出数</b>  《累計》 ⇒令和 6 年までに、 <b>3, 000 人以上</b>	<b>【基本目標 1】</b> 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	<b>令和 3 年度：242 人</b> [内訳] 企業誘致によるもの ： 54 人（過去誘致分を含む） 工場新增設によるもの：23 人 創業によるもの ： 71 人（創業者を含む） 地域おこし協力隊制度によるもの ： 1 人 その他：93 人 (米子市職員採用によるもの他)	<b>【参考値】</b> 数値目標策定時の平均 (H27~H30 年) ： 493.5 人
	<b>まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの</b>		
	4-1 地元企業の振興と地域産業の活性化 4-3 企業誘致の推進		


**今後の方向性**

新規雇用数については令和 2 年度とほぼ同数となった。コロナ禍におけるテレワークの普及により働く場所が問われなくなったことから、企業等にとって地方への移転が現実的な選択肢になっており、この機を捉えて産業用地整備を図るなど、引き続き企業誘致に向けた取組を推進する。

また、離職者等の学び直しによる職業能力向上の促進を図り、働く意欲のあるすべての人が就労できるように努めていくとともに、社会情勢を注視しながら各種支援等を進めていくことにより、雇用創出数の増加を図っていく。

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略における基本目標	令和3年度の実績	備考
<b>■人口の社会増減</b>  《年間》 ⇒令和6年において 転出入の均衡	<b>【基本目標2】</b> 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる	<b>令和3年度：7人</b> [内訳] 転入総数：4,914人 転出総数：4,907人	<b>【参考値】</b> 数値目標策定時の平均 (H27～R1年) : △53.8人
	<b>まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの</b>		
	4-12 シティプロモーションの推進と関係人口の拡大 4-13 移住定住の促進		



今後の方向性
<p>令和3年の社会増減については、7人の転入超過とはなったが、昨年と比べ234人転入者数が減少に転じた。長引くコロナ禍の中、県内他市町村からの転入者数が減少し、県外への転出の動きが戻りつつあることが原因として考えられる。</p> <p>県外への主な転出超過先である、関西圏は増加傾向、関東圏はやや減少傾向となっている。これは、コロナ禍により関東圏を避け、仕事や進学先が遜色ない関西圏へと人流の変化をもたらしていると考えられる。</p> <p>引き続きシティプロモーションの推進や関係人口の拡大、移住定住の促進に取り組むとともに、未婚晩婚化対策等を推進し若者の定住定着を促進することで、人口減少を抑制していく。</p>

(参考)米子市における社会増減推移

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
県内合計	363	181	348	147
県外合計	-390	-393	-107	-140

(単位：人)

県外合計の内訳

区分		令和元年	令和2年	令和3年	区分		令和元年	令和2年	令和3年
関東	東京	-145	-70	-61	山陽	岡山	-6	-3	2
	埼玉	-43	-16	-1		広島	-18	-81	18
	千葉	-41	-14	-18	小計		-24	-84	20
	神奈川	-77	-8	-35	島根		85	183	171
小計		-306	-108	-115	外国	44	74	14	
関西	大阪	-68	-75	-115	その他		-102	-37	-77
	兵庫	-22	-60	-38	県外合計		-393	-107	-140
小計		-90	-135	-153					

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和 3 年度の実績	備考
<b>■ 出生数</b>  《年間》 ⇒令和 6 年において、 <b>1,400人以上</b>	【基本目標 3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	<b>令和 3 年度：1,173人</b>	【参考値】 数値目標策定時の平均 (H27～R1 年) ：1,352 人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	3-1 在宅育児支援の充実 3-2 待機児童の解消と子育て支援の充実		



今後の方向性
<p>出生数については、前年から微増となったものの長期的にみると減少傾向がみられる。出生数の減少は、未婚・晩婚化、合計特殊出生率の低下など、様々な要因が絡み合って進行している。</p> <p>教育と福祉が一体となった新たな組織「こども総本部」により、子どもの特性や発達に合わせた適切で切れ目ない支援など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを行うとともに子育て支援の充実による子育ての負担軽減、保育所及び学童保育の待機児童解消など総合的な取組を推進する。</p>

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和3年度の実績	備考
<b>■ 中海・宍道湖・大山 圏域人口</b>  <b>《累計》</b> <b>⇒5年後、令和6年に おいて60万人以上</b>	<b>【基本目標4】</b> ひとが集う、安心して暮らすことが できる魅力的な地域をつくる	<b>令和3年度：640,132人</b> [内訳] 米子市：146,753人 鳥取県西部圏域(米子市を除く) ：81,808人 松江市：202,280人 出雲市：172,871人 安来市：36,420人	<b>【参考値】</b> 数値目標策定時 の住民基本台帳 人口 (H30年) ：65万3千人
	<b>まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの</b>		
	1-1 広域的な交通基盤の整備 2-9 国県・他の自治体との連携 協力 4-7 広域連携による観光振興		



今後の方向性
<p>広域連携の分野では、鳥取県西部圏域を含む中海・宍道湖・大山圏域で、市長会を中心に令和6年において、60万人以上の人口を維持することを目標に、地方創生関連交付金を活用しながら、観光や医療分野等における取組を進めた。</p> <p>圏域全体が観光等各分野において、相互に発展できる取組を続けていくことにより、人口を少しでも維持していくように、他県・他自治体との連携協力を図りながら、引き続き取組んでいくこととしている。</p>